

秦野市青少年指導員だより

発行 秦野市青少年指導員連絡協議会

編集 秦野市青少年指導員連絡協議会広報委員会

第52号

子どもまつり

秦野市では、毎年五月五日のこどもの日にカルチャーパーク陸上競技場周辺において「子どもまつり」を開催しています。

家族みんなで楽しめる様々なイベントが用意され、毎年多くの親子連れでにぎわっています。

私たち青少年指導員も、ゲーム・イベント担当として参加しています。

以下はその活動の様子です。

「ふれあいゲーム」(陸上競技場)

・靴飛ばし：履いている靴を飛ばしその距離を測ります。
・シャトルラン：二十メートルの距離を音楽に合わせて往復します。何回戻ってこられるかを計ります。

・ドリブル(縄跳び)ユーザー：縄跳びをしながら走り戻ってくるまでの時間を計ります。

子どもたちと一緒に

歩んだ一年を振り返って



「ミニ動物園」(芝生広場)

ウサギ・ハムスター・ひよこなど放し飼いの小動物やヤギと間近に接することができ、小動物は抱っこできます。



「大型紙芝居」(陸上競技場)

畳一畳ほどもある大きな紙芝居で、日本の民話や秦野の昔話を、指導員が迫力いっぱいに読み聞かせます。



今年の五月五日も「子どもまつり」が開催されました。皆さんで参加して、家族や友だちみんなで楽しんでいただきましたでしょうか。

第一回全体研修会

全体研修会は、指導員の皆さんが実際に子どもたちと接するときに、必要になる技術や気を付けるポイントなどを、研修を通して身につけていただくことを目的に企画しています。令和六年度の第一回目の全体研修会は、キャンプファイヤー研修とカレー作

りを表丹沢野外活動センターにて行いました。

第一部のカレー作りは、野外炊事場を利用して、各地区を中心とした班ごとに分かれ活動しました。班によっては、多少の失敗や手違いなどあったようですが、和気あいあいとした雰囲気、親交を深めることにも繋がったのではないかと思います。

第二部のキャンプファイヤー研修では、南地区の前田指導員を中心に火起こしセレモニーから歌やゲームのレクリエーションまでレクチャーをしていただきました。こちらも笑顔あふれる研修となり、実践的で大変参考になりました。そして、それと同時に実際にキャンプファイヤーの場を回していくための技術習得の必要性を実感いたしました。



秦野市・諏訪市 交流キャンプ

令和六年七月六日から七日にかけて、長野県諏訪市で開催された国内姉妹都市青少年交流キャンプに参加しました。本市からは小・中学生約三十名が参加し、諏訪市の小・中学生約二十名と交流を深めました。



船など多彩なイベントが用意されました。

全てのイベントは諏訪市のジュニアリーダーが主導し、子どもたちが主体となつて楽しみながら進められました。青少年指導員二名を含め、引率者はあくまで見守る役割に徹しました。

諏訪市の育成会では、失敗を成長の糧とする方針を掲げており、ジュニアリーダーたちの、失敗を恐れずチャレンジする姿勢がそれを裏付けていました。その姿は子どもたちにもまぶしく映つたのではないのでしょうか。今回のキャンプを通じて、参加した子どもたちはひとまわり大きく成長したように見えました。



この事業は、友情と連帯を深め、仲間との相互関係の中で自分の役割や連帯感など社会性を育成することを目的としています。

キャンプは国立信州高遠青少年自然の家で行われ、ダンス練習や野外炊飯、キャンプファイヤー、諏訪湖での遊覧

坡州市 青少年相互交流事業

九月二十七日から三十日に行われた、友好都市・韓国坡州（パジュ）市と秦野市との「青少年相互交流事業」に協力しました。今回の協力内容は、参加者の宿泊所である表丹沢野外活動センターにて、二十八日の夕食野外炊事のサポートと、食後から就寝時間までの「交流レクリエーション」の企画運営でした。



野外炊事のメニューはカレーライス。同じ材料・同じレシピでも、不思議なことに出来上がりは違う。あらかじめ「子どもたちが作ったものを食べる」と申し合わせていたので、各班からひと口ずつお裾分けを頂戴し、その違いを楽しませてもらいました。

食事の後は屋内に移動してゲーム。お題に対して自分が思い浮かんだ答えを発言するというシンプルなものでしたが、答えによつては新たな発見もあつたようで、場は大いに盛り上がりました。

最後の挨拶で「明日の朝は早いから、夜更かしはほどほどに」と言うと、とても元気な返事。「絶対、長い夜だらうなあ」と思いながら、セリターを後にしたのでした。

神奈川県 青少年指導員大会

令和六年十一月十日（日）に、相模原南市民ホールにて「育てよう豊かな心 伸ばそう若い力」をテーマに、第五十五回神奈川県青少年指導員大会が開催されました。

また当日、長きにわたり指導員として尽力された功績を讃えられ、府川 努氏（上地区・七期十三年）が優良指導員として表彰されました。おめでとうございます。



編集後記

青少年指導員だより五十号をお届けいたします。あつという間の一年でしたが、記事をまとめていると、色々やってきたんだなと改めて思い返されました。私たちは、一期二年で活動しており、今年度は二年目、残り一年も精一杯活動したいと思っております。今年も色々な所でお会いすると思いますが、応援よろしくお願いします。

第二十九期 広報委員

委員長

田方 淳一（大根・鶴巻）

副委員長

山川 寛頭（東）

中山 大輔（本町）

小口 敦子（南）

今井 節子（南）

小関 幸翁（北）

田方 明子（大根・鶴巻）

三國 壽成（西・上）

田村 幸久（西・上）

吉田 直哉（西・上）